

# 高梁市 議会 だより

第23号  
2015年8月

備中たかはし  
松山踊り

## 6月定例会開催

第5回議会報告会を開催しました ②

一般質問 ここが聞きたい! ⑥

議員定数について意見交換を行いました ⑭

# 第5回議会報告会を開催しました

4月22日・23日の両日、「第5回高梁市議会議会報告会+意見交換会」を開催しました。高梁、玉川、宇治、高倉、有漢、成羽坂本、川上、備中(平川)の8地域の会場で、延べ169人の参加がありました。

毎回、どんな形式がいいのか試行錯誤をしながら開催している議会報告会ですが、今回は地域の人たちから前向きな意見を出してもらおうという意図から「住みなれた地域で楽しく暮らしていくために」というテーマを設定し、意見交換会に重点を置いた内容となりました。

懸案事項の多い中、どの会場でも白熱した議論が交わされる場面もありました。いただいたご意見、ご提言は各担当委員会で議論した後、結果は議会の公式ホームページでお知らせしています。

## 問題点に関する全員協議会を開催しました

(6月2日開催)

### ■報道発表について

議員 場外馬券場の白紙撤回について議会に報告がある前に新聞報道がされた。図書館の時には非公開で行った。議会軽視や市民無視があるのではないか。

執行部 図書館の時とはケースが違う。今回は報道機関の取材に応じたことで議会軽視はしていない。

### ■業者が辞退するに至った経過について

議員 場外馬券場というギャンブル施設が高梁市にふさわしいかどうか問われたと考えるが。

執行部 収入の確保と地域の活性化のために「ゆ・ら・ら」復活に向けて取り組んできた。

議員 1500筆の反対署名や8名の議員からの意見書が出るなど、市民や議員の反対は想定出来なかったのか。

執行部 競馬は公営事業であり、売却に向けて手続きを進めた。

### ■今後の方向性は？

議員 今後についてどう考えているのか。活用検討委員会を設立したらどうか。

執行部 現在は全てのこと白紙の状態である。

議員 業者の辞退は残念であったが、今後について、市の財政の負担にならないよう適切な判断を願う。

執行部 厳しい財政運営が続く中で引き続き努力していく。

議員 この地域のにぎわいをどうつくっていくのか、市民と考えたらどうか。

執行部 新たな活用方法を検討する中で、地元も含め大勢のご意見をいただきたい。



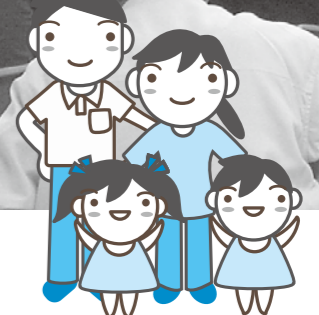
玉川会場



成羽(坂本)会場



有漢会場



## 議会報告会に対する「意見」

○議会はがんばって存在意義を示してほしい。(市民の代表者だから)

○市民がもっと市政について関心を持たなくてはならないと思う。せっかくの報告会に出席者が少ないのが寂しい。

○身近なところで説明があると、知らなかったことが分かった。今後も行つてほしい。

○今回の報告会では議員が質問しているのか町民が質問しているのかわからない。よい返事は聞けなかった。

○女性の数が少なすぎる。

○高齢者増加に伴い、若い人の活動や意見が必要と思われる。

議員も40歳前後が必要と思われる。

○議会だよりで大体のことはわかるが、直接説明を聞いたほうがよく理解できる。

○1人の発言時間が長すぎる。論点を明確にした質問、回答を。発言を促し、議論の場になるようにしてほしい。

○どこの会場でも出席者が固定化しているように感じる。

○議会報告会というよりは、地域の人の意見を聞くことが重要。

○大変よいと思ったが、もう少しシャキッとしてほしい。

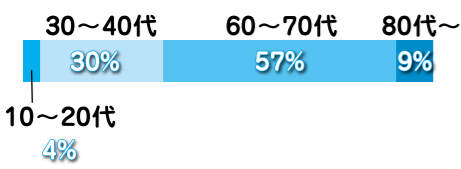
○こういった機会を小地区単位で開催していただけると少しは市政への関心が高まり、また意見を出しやすいのでは。議会を身近に感じることができ。これからの市政を担う人たちに関心を持ってもらうことが必要。

### アンケートでみる議会報告会

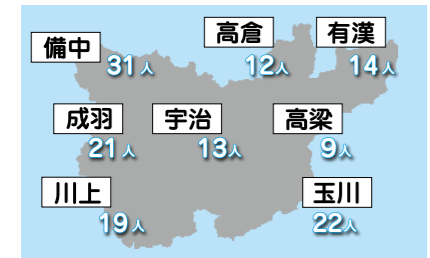
#### ■出席者の性別



#### ■出席者の年齢



#### ■会場別回答者数



延べ169人の参加者のうち141人から得た回答をもとに作成しています

# 6月定例議会開催

平成27年第3回高梁市議会（定例）は、6月12日から7月1日までの20日間の会期で、開催されました。

一般質問では、議員15名が48項目にわたって市政について質問しました。市長提出の議案12件のうち、4件の報告を受け、残り8件については全てを可決しました。

市民団体などからの1件の請願については不採択とし、継続審査となっていた1件の陳情は陳情者からの申し出により取り下げられました。



**○議会を傍聴しませんか○**

本会議および委員会は公開を原則としており、どなたでも傍聴ができます。実際に傍聴されれば、紙面では伝えることのできない会議や議員の生の活動がよくわかると思います。

当日の受付で傍聴できますので、役所5階の議会事務局までお越しください。

## 一般会計補正予算（第1号）

**保健衛生総務費で追加された480万円について**

◆賛成討論

高梁市医学生奨学金貸付条例に基づき、不足している私立病院等の医師確保に向けた措置であり、学生等に制度の周知をしてほしい。

**健康増進施設運営費で追加された160万円について**

◆賛成討論

旧「ゆ・ら・ら」は市費の投入をしないという考えの中、売却公募を行い1社の応募があった。これは旧「ゆ・ら・ら」施設の価値を認め、施設の一部を場外馬券売り場にし、温浴施設の再開をするものであった。この提案はベストではないが容認の範囲と考えていた。施設再開を望む多くの市民の声もあった。

しかし場外馬券場設置反対署名

安保健法整備の推進でなく、日本国憲法第9条にもとづいて、武力によらない平和外交を強く進めるよう政府に求める請願

委員会では不採択とされました。本会議では「日本は戦後70年間『戦争をしない国』として世界に信頼を高めてきた。今後も日本は平和外交と話し合いで解決することが大切なので、この請願は採択するべきだ」という意見もありました。採決の結果、不採択となりました。

## 場外馬券場の設置に反対する陳情

継続審査となっていた場外券場の設置に反対する陳情は、目的が達成されたことから、取り下げの申し出があり、これを承認しました。

が提出されたり、市議8人から転用に反対する意見書が提出された中、応募企業と市の会談の結果、再開計画が白紙になった。

今回計上されている管理費160万円は、旧「ゆ・ら・ら」施設の今後の活用が定まるまでの防犯上必要最低限なものだが、今後の活用をあらゆる選択肢を持ち、早急に検討してほしい。

反対するものではないが、旧「ゆ・ら・ら」施設の警備保障委託料や改修工事費などで160万円の予算が追加されたものである。今後の活用を早く決めてほしい。

市民の暮らし・福祉・教育・文化・スポーツ等に役立つように市民の声を十分に聞き、最小限の経費をもって、公共利用、民間活用両面で検討されるように求める。

専決処分の承認を求めることについて

こども子育て会議条例の一部を改正する条例は、こども課の名称をこども未来課に変更することに伴う条例改正で、「本来、課名変更は3月議会で議論するべき」という意見がありました。

**高梁市税条例等の一部を改正する条例**については、「軽自動車税の引き上げを1年先送りにする」となど賛成できる点もある。しかし、マイナンバー制度により徴税強化につながる可能性がある。また、個人情報流出という懸念もあるため反対する」という意見がありました。

※専決処分（議会で議決すべき事項を、特定の場合に限り地方公共団体の長が先行して処分すること）したことへの承認を求めるものです。

## 6月定例会で賛否が分かれた議案等の議決結果

件名	○賛成 ●反対																				
	石井	石田	石部	黒川	三村	森田	大森	内田	宮田	宮好	小林	柳井	川上	長江	植田	川上	宮田	大月	妹尾	難波	
専決処分の承認を求めることについて	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
安保健法整備の推進でなく、日本国憲法第9条にもとづいて、武力によらない平和外交を強く進めるよう政府に求める請願	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	○

※なお、「場外馬券場の設置に反対する陳情」は取り下げの申し出があり、これを承認しました。  
◎他の議案は全会一致で可決しました。

Q. 旧「ゆ・ら・ら」について市の今後の取り組みは

A. さまざまな方法について情報収集している



ここを聞きました

- 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について
- 地方創生について

川上 (有英コーポレーション) が購入を断念された以後について、市の取り組みはどうか。

市長 旧「ゆ・ら・ら」施設については経緯経過があった。今後については施設自体を活用する方法、再度公募をかける方法など、さまざまな方法について情報収集している。結論には至っていないがよろしく願いたい。

川上 ギャンブルということについて今回議論がなされていたが、執行部はどのように認識しているのか。

市長 公営、公認であるものと、違法であるものが全て一緒であるという認識は持っていない。

川上 議会では「ゆ・ら・ら」検討協議会から提言書を提出したが、これを重きとして対応するのか。

市長 これ以上経費を使わないということから売却を判断し売却先を決定したが、残念ながら白紙に戻った。議会からの提言を尊重しながら方策を考えていく。ただし、旧「ゆ・ら・ら」条例は廃止しており、そのことも踏まえ検討していきたい。

川上 神原地区の今後については旧「ゆ・ら・ら」の解決がなされないこと動きを促さないかと思うがどうか。

市長 6月2日に報告をしたが、地元では旧「ゆ・ら・ら」を活用してほしいという意見もあった。今後も市有物件であることに変わりはないので、さまざまな意見をいただきながら議論を深めていきたい。

Q. 米価下落、飼料米、契約栽培等、市独自の施策が必要ではないか

A. 国の制度を有効に活用し、農家所得の向上につなげたい



ここを聞きました

- 農業行政について
- 消火栓ホース格納箱について

内田 本市の農業を取り巻く現状は、従事者の高齢化、担い手不足等、厳しい現状である。市はどのように取り組むをするのか。

産業経済部長 新総合計画において、ブドウ、トマト等の園芸作物を中心に取り組む。また新規就農者と呼び込みたい。耕作放棄地対策としては家畜の放牧や薬用作物の栽培に取り組むたい。

内田 維持することが厳しい中山間地域の農業の現状を解決する手段として「人・農地プラン」の施策を進めている。このプランへの取り組みと成果をどう認識しているのか。

産業経済部長 市内18地区が「人・農地プラン」を作成し、うち12地区では組織化も完了している。備

中町平川地区や宇治地区においては新規就農者の受け入れも進んでいる。市としても各地域に働きかけを行っていく。

内田 平成26年度米価が下落した。今後も米価の低価格が続くと考えられる。多用途米、転作、契約栽培等、市として施策を行い、農家所得向上に取り組むべきではないか。

市長 国の制度を有効に活用し、農家所得の向上に取り組む。

内田 ホース格納箱と収納品の修理、取り替え等、地域が1/2の負担である。公の施設として全ての負担とすべきではないか。

消防長 格納箱及び収納品は地域の所有物である。市は費用の半額を負担している。

Q. 地方創生の取り組みについて

A. 定住が重要課題と考えている



ここを聞きました

- まち・ひと・しごと創生と高梁市の取り組みについて

まち・ひと・しごと地方創生と高梁市の取り組みについて

小林 地方創生の取り組みとして高梁市では今後どのような作業を進めていくのか。

市長 平成27年1月19日に総合戦略推進本部を設置している。また総合戦略有識者会議は、産官学金労という考えから、産業、行政、学校、金融、労働界などの有識者で構成しており、7月8日に第1回会議を開催予定である。

小林 そこで骨子案をたたき台に議論いただき、ご意見を伺いたいと考えている。同時にさまざまな会合に出向かせていただき、女性や青年の声を聞く機会を持ちたい。

小林 高梁市がこれから具体的に取り組んでいかなければならない計画や事業は何か。

市長 高梁市では定住が重要課題と考えている。さらにその中の一つとして、子どもの数が重要と考えている。合計特殊出生率を見てみると、高梁市は、平成24年の数値で1.22である。新見市では1.52、吉備中央町では1.53となっている。これらの数値を分析し目標数値に向けた施策を組み上げたい。

また、若い世代の定住、定年退職者の移住、農業、教育なども含め定住に向けた施策を織り込んでいきたいと考えている。

小林 地方創生は、再生ではなく地方の自立だと考えている。そのため我々そこに住む人、そして行政が何をすればいいのか一緒に考え、ともに取り組んでいくことが大切だと考える。

Q. 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」施設の売却が白紙になったことによる確認が必要ではないか

A. トップ同士での話し合いで決めたことであり文書確認は考えていない



ここを聞きました

- 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」問題について
- 図書館運営の外部委託について

妹尾 場外馬券発売所を展開する英コーポレーションの菅原社長と市長が東京で会い、旧「ゆ・ら・ら」施設売却問題を白紙にしたということだが、どのような話がされたのか。また自治体と民間企業とのことであり文書による最終確認が必要ではないのか。

市長 高梁市に何ら賠償は求めないということを確認した。

妹尾 旧「ゆ・ら・ら」施設における施策の失敗(失政)は今回で3度目である(MD企画、トラベルシリウス、英コーポレーション)。原因は、これら全てにおいて議会、市民の声を聞かないからであったと考える。こうした結果をどのようにに総括しているのか。

(経過説明の繰り返しのみで総括の

答弁は無し)

妹尾 新図書館の指定管理運営費に年間1億7000万円もかけて民間企業(CCC)に外部委託されようとしている。

そもそも図書館は市の直営で行うべきものであり、高梁市の中で図書館員(司書)を育てていき高梁市の知的文化財産を蓄積していくのが行政本来の役割ではないか。目先のことで「お手軽図書館運営に陥っている」のではないかと考える。

教育次長 地方自治法244条の2に従って指定管理するものである。その効果は、住民サービスの向上が期待できること、運営費に係る経費の節減ができることであると考える。

**Q. 佐与谷の産廃処分場が許可された。審査過程で業者は市と協議したとあるが事実か**

**A. 平成25年4月に業者が環境課に来ている。説明を受けたが了解はしていない**



ここを聞きました

- 総合計画と地域ビジョンについて
- 高梁市水道水源保護条例について
- 産廃処分場について

**■産廃処分場について**

**宮田** 佐与谷産廃最終処分場は、本年3月に岡山県の許可が下り、工事が進められている。私たちは飲料水や農業用水を守るため、岡山地裁へ産廃処分場建設禁止の仮処分を5月28日に申し立てた。

県と業者の事前協議では、業者に下流の住民や高梁市に説明・理解を求めるように指導され、業者の回答書は、高梁市と協議し理解が得られた。との記述があるが、これは事実か。

**市長** 平成25年4月18日に業者とコンサルタントが環境課を訪れている。産廃処分場計画の概要説明と質疑があったが了解はしていない。下流町内会の連絡先については回答していない。

**■総合計画について**

**宮田** 新庁舎や新図書館など市街地では、大型事業が進められている。他の地域では、置いてけぼりにされている感が強い。旧町のまちづくりを示した地域ビジョンはどうなっているのか。

**市長** 地域ビジョンは総合計画に基づき、旧町をどのように発展させるかを示している。一度に全てとはいかないが、できることから行っている。

**宮田** ビジョン策定には、それぞれのまちづくり協議会が関わってきた。ビジョンの実現に向けて地域局やまちづくり協議会がどのように関わっていくのか。

**Q. 空き家や市の施設を活用して工房に**

**A. 定住対策のためにも進めていきたい**



ここを聞きました

- 市の観光施策について
- 市所有施設の有効活用について
- 空家等対策の推進に関する特別措置法への対処について
- ものづくりの拠点創出について

**■空家対策特別措置法を活用し空き家の利用促進を**

**石井** 空家対策特別措置法が施行されたが、高梁市ではこういった対策をとるのか。

**市民生活部長** 環境課に窓口を設けて、税務課、まちづくり課、定住対策課、建設課、警防課などとの横の体制をとったワーキンググループで具体的な対策を練り込んでいく。

**石井** 危険な空き家の除去と、空き家の活用という2つの側面があるのではないか。

**市民生活部長** 危険を含む空き家については喫緊の対応が必要なので前面に出ているが、定住対策へ向けての助成制度も充実させてきている。県内の空き家バンクの成立件数は、現在高梁市が一番多い。

**■空き家や市の遊休施設を活用して移住者を支援する工房を**

**石井** 空き家を買上げたり、市が所有して現在余り活用されていない建物などを工房として貸し出すことで、移住者を増やすきっかけになるのではないかと。

**市長** 高梁市へ来ていただいて新たに起業したり、店を出したいという方の支援は積極的にさせていきたい。空き家を活用してラボにするのは非常に有効な手段だと思っている。行政が行うというよりも商工会議所、商工会と一緒に進めるべきと思っている。

**石井** ものづくりを希望する人を地域おこし協力隊として呼ぶことも検討してはどうか。

**市長** そういう手法も考えていきたい。

**Q. 国道313号の歩道改修について**

**A. 市としても、国・県に強く要望していく**



ここを聞きました

- 今後の慰霊塔の維持管理について
- 自転車通学の安全確保について
- 残土処理場について
- 農工商一体の観光を考えると道の駅をつくってはどうか
- 農業振興について
- 災害の負担金について
- 一般質問のその後について

**■自転車通学の安全確保について**

**大月** 国道313号の落合橋から井谷あたりまでが危険である。市の考えを問う。

**産業経済部長** 歩道整備については部分的に進んでいるが、なかなか思うように進まないのが現状である。市としても国・県に強く要望し、今後も道路整備が一日も早く完了するよう、積極的に努力をする。

**大月** 改正道路交通法が6月1日より施行された市の考えは。

**教育長** 市では中学生714名中338名が自転車通学をしており、小学生も自転車に乗る機会があるので交通安全指導教室を徹底している。また、各学校、関係機関及び高梁警察署と連携し、登下校時

**Q. 市街地の観光バス駐車場が不足していると思うが、今後どう考えるのか**

**A. 今後、市街地全体で検討していく**



ここを聞きました

- 高梁市の観光振興事業について
- 河川の維持管理について
- 学校給食の地産地消について

**■市の観光振興事業について**

**黒川** 市街地の観光バス駐車場は、観光案内所の駐車場がなく、この敷地内にある飲食店への来客が困るのではないかと。他の駐車場を検討しているのか。

**市長** 絶対的な駐車場のスペースは不足していると認識している。今後、市街地全体で検討していく。

**黒川** 吹屋ふるさと村への観光客が道に迷われるケースが多く、何かよい策はないか問う。

**市長** 市内の観光案内標識を調査し、本年度予算で500万円を計上し見直しをしている。

**■農業振興について**

**大月** 元川上農高跡地にアグリテックノ矢崎が来ているが、地域との関わりや成果はどうか。

**産業経済部長** 事業委託の試験栽培うち、独自の技術による夏ホウレンソウの技術は確立している。その他新玉ネギまた花卉等ほうまくいつている。また、世界のブドウ園を閉鎖したので、その機能を元川上農業高等学校跡地に整備している。この施設を通じて地域の農業者と意見交換や交流を行える活性化の拠点としたい。さらに、ほ場を定期的に公開して栽培技術の普及促進につなげていくために矢崎と協議したいと考えている。

**■学校給食の地産地消について**

**黒川** 県教委の調査によると他地域では県内産割合が過去最高とあったが高梁市はマイナスであった。そのことについてどう考えるか。

**産業経済部長** 市として事業化を予定している場所が4カ所あり、6万8000立方メートルの土砂を受け入れることができる。

**黒川** 食料別の割合で6月を予測すると、すでに60%を超えている。バラエティーに富んだ給食を提供するほど逆に県内産の率は下がる傾向にある。これとは別に重量ベースでは、7割を超えて県内産を使用している。

**Q. 老朽化した地域局の建て替えなど、公共施設の更新はどうなっているのか**

**A. 早急に地域局の在り方をお示しし、地域ビジョンを具現化していく**

**■新総合計画後期基本計画について**

**石田** 防災拠点である消防庁舎、消防器庫の更新はどうなっているのか。

**消防長** 消防庁舎については平成31年に設計、消防器庫については毎年1棟の建設を予定している。

**石田** 老朽化した地域局の更新はどうなっているのか。

**市長** 早急に地域局の在り方をお示しし、まちづくり協議会や議会にも諮って地域ビジョンを具現化していきたい。

**■歴史的建造物の活用について**

**石田** 歴史的建造物は活用してこそ意味があるのでないか。吹屋小学校等の工事は単に復元にとど



ここを聞きました

**石田芳生**

- 新総合計画後期基本計画について
- 歴史的建造物の活用について
- 観光振興の体制整備について
- 有害鳥獣対策について

まらず、将来の活用を視野に入れて取り組むべきであると考えているかどうか。

**教育次長** 県の重要文化財として許される範囲での活用になる。そこでできないことと、それ以外を仕分けして観光や地域の要望に対応していきたい。

**■観光振興の体制整備について**

**石田** 市の観光施策を進めるうえで観光協会の統一が必要ではないのか。

**市長** 観光協会でお考えいただくことではあるが、今年度、統一についてのお話しも、促していきたい。

**Q. 地場産業の育成について**

**A. 市内優先で取り組んでいる**

**■地場産業の育成について**

**三村** 建設業の受注高が冷え込んでおり、それに伴い資材、材料業者にも影響がある。市内で調達するよう指導してもらいたい。

**総務部長** 建設工事は地域経済に大きな影響を与えている。市では市内優先で発注しており平成26年度の契約は96.6%となっている。

材料調達も市内優先とするよう特記仕様書に明記している。市外調達の場合は理由を付してら

っており理解をお願いしている。

**三村** 測量設計についても市内優先してもらいたい。また設計の段階で市内消費できる工法を取り入れてもらいたい。

**総務部長** 測量設計についても市内優先で取り組んでいる。また単



ここを聞きました

**三村靖行**

- 地場産業の育成について
- 高齢者の安全対策について

市事業などでは技術向上のため職員で行うようにしている。

**■高齢者の安全対策について**

**三村** 高齢者の行方不明が増えて

いるが、どのような対策をとっているのか。  
**健康福祉部長** 今年度から「高梁市SOSネットワーク」を開始した。民間事業者には「徘徊サポート」への登録を積極的に呼びかける。さらに「認知症カフェ」の設置も計画している。

**三村** GPS付きの腕時計を配布してはどうか。

**健康福祉部長** 携帯型発信器については1万円を限度に助成している。操作の面で課題も多いが情報収集を行いながら対応していきたい。

**Q. 備中中学校のトイレ改修について**

**A. 必要最小限の改修が必要と考える**

**■長江** 高梁市総合教育会議の指針の一つには、学校の教育体制と施設・設備を充実させ、よい教育環境を準備するとある。また、高梁市では新規事業としてトイレのま

ちづくり事業に取り組んでいる。備中中学校の屋外トイレを次代を担う子供たちにふさわしいトイレに改修するよう求める。

**教育次長** 備中中学校のトイレについては必要最小限の改修が必要と考える。特に、男女の区分等は急がれると認識している。

**長江** 富家小学校では複式学級が学年によっては回避できない。統合のメリットとして単式学級にとの要望に対して、教育委員会が教育委員会へ要望するとともに市教育委員会独自で非常勤講師等の



ここを聞きました

**長江和幸**

- 富家小学校の複式学級について
- 備中中学校のトイレ改修について
- 地方版総合戦略について

配置により対応を考えると答弁された。学校統合3年目にして複式学級になった理由を問う。

**教育長** 統合による加配をいたさないながら複式学級解消に向けた取り組みを進めてきたが、今年度は児童数の減少によりこのような学級編成になった。

**長江** 地域間格差が、教育格差と言われている。統合を進める上でその地域性を考慮いただくよう県に要望してほしい。



備中中学校トイレ

**Q. 図書館は教育委員会直営で**

**A. 指定管理により市民サービスの向上が期待できる**

**■石部** 「中央図書館基本構想」にある6つの機能(センター)と、C

CCへ委託管理する図書館との整合性は。委託管理と教育委員会運営とのメリット・デメリットは。

**教育次長** 住民サービスの向上と、経費の削減、駅前のにぎわいも創設できる。構想の6つの機能は濃淡はあるが業務として行いCCCと連携調整をする。センターの役割は市が組織を作り行う。消費税は直営も委託も同じベースで説明している。新図書館を委託管理すれば、入館者数や貸出数が増え、専門の司書も配置でき、市民サービスの向上も期待できる。

**石部** 直営の試算は消費税が計算されず上乗せが必要である。その上センター機能を教育委員会が行うことになれば経費の削減になら



ここを聞きました

**石部 誠**

- 安保法制について高梁市長の見解を問う
- 高梁中央図書館について問う
- 旧「ゆ・ら・ら」の売却問題について問う

ない。市民サービスは直営で市民参加を促せば、知的にも財政的にも地域や市民に還元され、新しい発展が望まれる。新図書館は直営が望ましいと考える。

**石部** 旧「ゆ・ら・ら」を場外馬券場に売却する計画は、ギャング

ル場が高梁市にふさわしい施設かどうかが問われたわけであり、白紙に至った教訓・反省点は何か。  
**政策監** 旧「ゆ・ら・ら」施設の再開・神原地区のにぎわい・雇用や家賃収入などの理由から売却を決めたが、施設維持のための「場外馬券場」が理解が得られず市として説明不足を感じている。

**石部** 説明不足が問題ではなく、市民合意や市民に寄り添わない計画に問題があったと考える。

**Q.** 現在の行政の仕組みが時代の変化、今の社会にあわなくなってきているのではないかと、その中でリーダーシップ論を聞く

**A.** さまざまな意見の中で、適切な判断をし、スピード感、一体感を持った市政運営をしていく



ここを聞きました

- 公共マネジメント「これからの行政に求められるリーダーシップと公共経営におけるダイバーシティマネジメント」について
- 「高梁市まち・ひと・しごと総合戦略」について
- 少子・高齢化、人口減少下での学園文化都市づくりとダイバーシティについて

「公共マネジメント」について

**大森** 首長のリーダーとしての資質で（市民、議会、市職員との）信頼関係の構築は最も重要であると思うが、市長のリーダーとしての在り方を聞く。

**市長** お互いを尊重、信頼することが一番。それを念頭に、心新たにさまざまな問題に対処していく。それができなければこれからの市政運営はできない。

**大森** 現在の市政、議会を見ると、その信頼関係の構築ができていないように見える。そのような状況の中で、来年18歳の選挙権がスタートする。次世代の若者に対するメッセージがあれば聞く。

**市長** 子供たちが夢を語れる環境づくりが重要。それが将来の高梁につながっていくと思っている。

「まち・ひと・しごと総合戦略」について

**大森** 山田方谷のDNAを生かした、補助金に頼らない補助金を使った独自の地域資源、資本、人材を生かした、経済観念をもった持続可能な戦略の構築（PPP、PFIなど）を考えてはどうか。

**市長** そのとおりでと思っている。もっと広い意味で、循環型の持続可能なまちづくりを推し進める。

「国際交流都市を目指したインテリッシュタウン構想」について

**大森** インバウンド観光、英語教育、生涯学習も前提にした行政の新たな仕組み（国際交流課の新設、外国人枠の設定、吉備国際大学との連携等）とまちづくりを。

**市長** 柔軟に対応していきたい。

**Q.** 副市長の覚悟を問う

**A.** 次の方針を決定に導いていくことが私の責務だ



ここを聞きました

- 米づくり農家を応援するふるさと納税の実施について
- 図書館のCCCへの指定管理委託と高梁市立図書館指定管理者業務要求水準書について
- 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の場外馬券場転用のための売却取りやめについて

**宮田** 今回の旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」売却に関して、市民に対して不安や憶測、動揺を与えた責任をどう考えるのか。

**政策監** 市民の皆様方にいろいろと御心配をおかけし、大変申し訳なく思っている。

**副市長** 地元の松原、神原の皆さん、そして市民の皆さんに御心配をおかけしたことについては、まことに申し訳なく思っている。しかし、手続的には何ら間違ったこととはしてないと思っている。

**市長** 今回の結果を受けて今度どうするかという議論になる。それを全うするのが我々の責任であると考えている。

**宮田** 3月議会で副市長、政策監は自分の進退をかける気概で事に

望んでいるのかとの問いに対し、副市長は、私の覚悟の話であればそのつもりであると答弁したが、その覚悟について聞く。

**副市長** 業務の中で常に責任と覚悟を持って当たっているということを申し上げた。

今回の件は白紙に戻ったが、次の方針を決定に導いていくことが市民に対する私の責務だと考えている。



**Q.** 高梁市まち・ひと・しごと総合戦略策定は市民一人ひとりの生活向上を念頭に

**A.** 策定に当たっては各種団体や市民の意見を十分に聞きオリジナルティあるものとする



ここを聞きました

- 高梁市まち・ひと・しごと総合戦略について
- 農林業の振興について
- マイナンバー（国民総番号）制度について
- 中学校教科書の採択について

**難波** 「地方創生」が打ち出された背景は、長年続けてきた大企業優先の政治が地域産業を衰退させ、地方から人口が流出したことにあり。

そして、地方消滅論まで言われるようになった中、各地方から政府へ地域再生の要望が強く求められ、それに応える側面と、財界・大企業が求める「規制緩和」を一層進めるということではないか。

**政策監** 経緯は日本創成会議が5月8日に将来の人口を見通して、消滅可能性都市が出てくるという中で、政府がまち・ひと・しごと創生本部を設置し、その後法律を成立させたことにある。

**難波** 本市が「自治体消滅論」が出るほどに衰退してきたのは、一

口で言うのと家族農業を破壊したことで後継者が育たず、商工業へも影響を及ぼし地域経済が衰退したからではないか。

**政策監** 人口が流出することは、同時に若い世代も流出することであり、本市にも見られる現象である。当然、農業の後継者やその他にも影響があると考ええる。

**難波** 本市の総合戦略策定に当たり「地域が豊かになる」ためには、住民一人ひとりの生活が向上することを念頭にしたまちづくりが必要ではないか。

**政策監** 策定に当たっては「産・官・学・金・労」と婦人、青年の意見を十分聞き計画する。

**市長** 高梁市のオリジナルティのある計画にしたい。

委員会報告

総務文教委員会

**委員** 軽自動車税の増税については、市はどう考えているのか。

**執行部** 現在の軽自動車は、車の価格や重量、環境負荷などは、普通自動車とほぼ変わらないので、自分の負担を求めているのである。

なお地方税法で1.5倍まで高く課税できるが、本市では地域間の公平などの観点から、標準税率を適用した。

**委員** 高梁市奨学金貸付条例の一部改正は、定住促進の観点から、高校・大学を卒業後も市内に定住すれば返還を免除するものだが、居住を求めることにより、将来の選択、希望を閉ざすものになるのではないか。

**執行部** 奨学金制度は、経済的理由で就学が困難な者に、無利子で貸し付けるもので、主旨は変わらない。

その中で、市内に定住された方には返還を免除する規定を追加したものである。

市民生活委員会

**委員** 高梁市医学生奨学金貸付条例は医学生に月額20万円以内を無利子で貸し付け、市内の医療機関で医師として一定期間従事すれば返済が免除されるもので、良い制度と思う。市内の医師不足はどのような状況にあるのか。

**執行部** 本年4月の聞き取りでは、4病院で6名程度不足しているとの回答であった。

**委員** 予算では2名分を計上しているが、予定はあるのか。

**執行部** 予定はない。ぜひ申し込みをしていただきたい。

**委員** 旧「ゆ・ら・ら」に付けた160万円の内容は、

**執行部** 大きいものは改修工事費の53万2000円で、保安上の管理のための電気工事費である。委託料の38万9000円は警備保障業務を委託するものである。

**委員** なぜ保安上の管理が必要なのか。

**執行部** 閉館以降、草が伸びたり窓が割れたりしており、保安上から警察に巡回を求める声がある。警察からは、市に最低限の保安管理をするよう要請があった。

※1 PPP…(パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携)  
 ※2 PFI…(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)

## 議員定数について

7月1日に全員協議会を開催し、議員定数について意見交換を行った。現状維持が6名、削減が14名でした。これらの意見を参考に協議し、9月定例会で結論を出す予定となっております。

### ●主な意見

- 広く地域の声を反映させるためには定数を減らすべきではない。
- 経費削減のため報酬を大幅に引き下げ、定数は維持すべき。
- 議会のチェック機能、政策立案機能から定数は維持すべき。
- 財政面から議員自ら襟を正し削減すべき。
- 県内他市との比較では、人口当たりの議員数は高梁市が一番多いので削減すべき。
- 委員会構成は18人でも可能である。
- 地域の声を反映させる事は、定数減でも議員の努力で可能である。

### ●松山踊りの季節到来●

今回の表紙は、備中たかはし松山踊りポスターコンテストでの最優秀作品です。  
制作者は高梁城南高等学校デザイン科2年生の和泉谷まりもさん。偶然にも前号の巻頭を飾って下さいました。  
8月14日・15日・16日は備中たかはし松山踊りにぜひお越し下さい。

## 気になるスポット The spot of Takahashi

### 山田方谷先生寓居跡

来年5月の主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）に合わせて、教育相会合が倉敷市で開催されます。これは、幕末の備中松山藩で藩政改革を推進し、教育にも力を入れた儒学者・山田方谷の存在が決め手となったようです。高梁市や方谷を世界にPRする絶好の機会であり、高梁市全体で取り組めるよう頑張りたいものです。

写真の建物、かなり荒廃はしていますが、方谷が実際、住んでいた建物で、頼久寺の第2駐車場の傍らにあります。頼久寺住職の生島裕道氏にお聞きしたところ、建てられた年代は定かではないが天保10年の大火の記録には焼失した建物の中には記載はないので、それ以前かその後にできたものだと思います。この建物は「隠寮」と言われている建物で、住職の居住まいでした。1864年方谷60歳の折、板倉勝静公の長州征伐出陣により、留守の兵権を委任された時に、この建物に仮住まいされていたようです。これを機に、この建物の活用を前提とした保存、修復の機運が高まればいいですね。

※寓居…仮に身を寄せている住居



## 編集後記

「事の外に立ちて、事の内に屈せず」(山田方谷『理財論』)  
6月議会においても、「旧ゆ・ら・ら」跡地利用、中央図書館を核にした駅前複合施設の問題をはじめ、人口の減少・高齢化、縮小社会でのまちづくりに対して多くの質問、議論がなされました。

今の行政の仕組みや議会の在り方が時代の急激な変化に対応しきれなくなっているのではないだろうか。今なされている議論や決定した事の外に外があるような考え方が、今を生きる私達に必要ではないでしょうか。今ある考え方や意識の外に、その本質、解決の糸口が隠されているような気がします。

(大森 一生)

編集  
議会広報調査特別委員会

委員長 宮田 公人  
副委員長 森田 好夫  
委員 大森 一夫  
委員 石田 仲生  
委員 石井 芳誠  
委員 石井 美

☆ご意見はこたないまで

高梁市議会事務局

高梁市松原通20043

☎0866-21-0276